

Game Report

開催場所：東海大学九州 松前記念総合体育館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 女子 1 部

試合期日：2016 年 9 月 17 日(土)

試合時間：11:40～

主審：副島 亜紀子

副審：有働 千夏

鹿屋体育大学	○ 4 8	18	—1st—	15	● 4 5	西南女学院大学
		13	—2nd—	11		
		8	—3rd—	11		
		9	—4th—	8		

第 1 ピリオド

鹿体大 # 8 中山の豪快なドライブで試合がスタートする。先制得点をあびた西女大だが、# 4 市丸のスティールから # 1 2 中田が 3 P シュートを決めてくる。対する鹿体大は、# 2 6 後藤のオフンスリバウンドから # 3 1 西村がシュートを決める。ここから両チーム得点が入らない時間帯が続く。中盤、西女大は # 1 2 中田のシュートやドライブで得点を重ねる。鹿体大は # 3 大串のインサイドでの力強いプレイでファウルをもらい確実にフリースローを決める。両チームとも点を譲らず、18-15 と鹿体大のリードで第 1 ピリオドを終える。

第 2 ピリオド

ここから点数を突き放したい鹿体大。しかし、西女大の粘り強いディフェンスでなかなか得点ができない。対する、西女大も # 1 2 中田がリバウンドで存在感を見せるも、得点には結びつかない。中盤に差し掛かり、ここでも # 1 2 中田がインサイドで合わせてファウルをもらい、確実にフリースローを沈める。対する鹿体大は # 5 1 川口から # 8 中山の合わせのプレイが 2 本決まり突き放しにかかる。鹿体大 # 2 6 後藤がドライブでねじ込み確実にファウルをもらう。西女大は # 8 山本が 3 P シュートを決めるも点差を縮めることができず、31-26 の鹿体大リードで前半を折り返す。

第 3 ピリオド

第 3 ピリオドは西女大 # 1 7 眞鍋のシュートでスタートする。その後、西女大 # 1 1 岩田のインサイドでの体を張ったプレイから得点を奪っていく。1 点差と迫るも、鹿体大 # 2 6 後藤のドライブ、# 3 大串のリバウンドが存在感を見せ、リードを保つ。一方、西女大はシュートが決まらない苦しい場面で、# 2 2 小田原のドライブからファウルをもらい確実にフリースローを決め、ついに逆転に成功する。終了間際、# 5 1 川口のシュートが決まり、39-37 の鹿体大リードで第 3 ピリオドを終える。

第 4 ピリオド

最終ピリオドは、西女大 # 2 0 濱口のナイスパスに # 2 1 ニノ宮が合わせるプレイが連続で決まり、再び、西女大が逆転に成功する。しかしながら、鹿体大はここでも # 2 6 後藤がドライブで得点を決め、同点に追いつく。接戦の末、最後はこのゲームで 17 得点をあげた鹿体大 # 2 6 後藤のドライブが決まり、48-45 のロースコアで鹿体大が勝利した。